

開講専攻	授 業 科 目	担 当 教 員	必修 選択 の別	単位数
看護学 ----- 4セメスター 金・3, 4	成人慢性期看護方法論	根本 良子 ほか	必修	2
授業題目	慢性疾患・がん及び終末期にある成人患者・家族への看護方法			
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>目的： 慢性疾患・がん及び終末期の健康問題によりストレス・危機状況にある成人患者・家族に対して，人間関係を基盤として，問題解決の系統的アプローチと看護理論を適用し，成長・発達・適応の可能性を最大限に引き出すように働きかける看護能力を養う。</p> <p>目標： 1． 慢性疾患患者・家族に対して慢性的な揺らぎの再調整，セルフケアを促し慢性病との共存を支える援助，障害を持ちながらの生活とリハビリテーション看護，人生の最後の時を支える看護について理解する。</p> <p>2． がんの特殊性を多角的に捉え，それぞれのがんの特徴について理解し，患者・家族のQOLを高める看護方法および，患者と家族が主体的に生きるための基盤となる倫理的課題，患者・家族支援について学ぶ。</p> <p>3． 系統別健康問題のある成人患者・家族の身体・心理・社会的特徴を捉え，既習の問題解決の系統的アプローチと看護理論を適用し，成長・発達・適応へ向けての看護方法を学ぶ。</p> <p>4． 成人の健康生活を促す情緒的支援，緩和ケア，退院調整看護技術について修得する。</p>				
授業計画				
<p>第1回(10/6) ガイダンス，健康生活の慢性的な揺らぎと慢性病（根本良子）</p> <p>第2回(10/6) 慢性病患者のセルフケアを促す看護（根本良子）</p> <p>第3回～4回，(10/13)慢性病との共存を支える看護，慢性の呼吸機能障害のある患者の看護（根本良子）</p> <p>第5回～6回(10/20) 慢性の循環機能障害のある患者の看護（根本良子）</p> <p>第7回～8回(10/27) 慢性の栄養・代謝機能障害のある患者の看護（柏倉栄子，由波有希子）</p> <p>第9回～10回(11/10) 慢性病患者のエンパワーメント，セルフマネジメント看護技術（根本良子）</p> <p>第11回(11/17) 慢性の生体防御機能障害のある患者の看護（柏倉栄子）</p> <p>第12回(11/17) 障害を持ちながらの生活とリハビリテーション（菊地史子）</p> <p>第13回(11/24) がんの特殊性，予防・早期発見，患者のQOL，倫理的問題（根本良子）</p> <p>第14回(11/24) 情緒的支援が必要な患者・家族への看護技術（根本良子）</p> <p>第15回(12/ 1) がんの予防，がん治療，リハビリテーションに伴う看護（武田真恵）</p> <p>第16回(12/ 1) がん患者の身体・心理・社会的苦痛と看護援助（武田真恵）</p> <p>第17回(12/ 8) 人生の最後の時を支える看護（石上節子）</p> <p>第18回(12/ 8) 患者・家族相談（大森蔚子）</p> <p>第19～20回(12/15) がん患者・家族への教育・支援・援助，がん患者と在宅ケア（根本良子）</p> <p>第21～22回(12/22) 緩和ケア看護技術，退院調整の看護技術（根本良子）</p>				
成績評価の方法及び基準				
<p>期末試験，課題レポート，出席状況を総合的に判断して行います。</p> <p>留意事項：成人看護学は、基本から積み重ねる学習の為、自分の学習動機・目標を明確にし、シラバス、教科書、配布されたプリント類は、授業時は持参し活用するように心がける事。出席回数が全授業回数数の2/3に満たない場合は、期末試験を受験できない場合があるので注意する事。</p>				
教科書・参考書				
<p>教科書： 1．系統看護学講座専門5成人看護学総論，小松浩子，医学書院。</p> <p>2．成人看護学慢性期看護論，鈴木志津枝他，ヌーベルヒロカワ</p> <p>3．成人看護学E,がん患者の看護，氏家幸子監修，廣川書店</p>				